

第 19 回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

1	日時	平成29年6月21日(水) 午後3時30分～午後5時	
2	場所	蒲郡市役所 本館 303会議室	
3	出席者	委員 愛知工科大学機械システム工学科教授 委員 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 委員 愛知運輸支局 委員 愛知県交通対策課 委員 総代連合会会長 委員 総代連合会副会長 委員 総代連合会副会長 委員 形原地区公共交通協議会 委員 蒲郡市身体障害者福祉協会 委員 蒲郡市老人クラブ連合会 委員 蒲郡市社会福祉協議会 委員 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 委員 蒲郡商工会議所 委員 蒲郡市観光協会 委員 名鉄バス東部株式会社 委員 豊鉄タクシー株式会社 委員 株式会社かね一自動車 委員 名古屋鉄道株式会社 委員 公益社団法人愛知県バス協会 委員 愛知県タクシー協会 委員 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 委員 愛知県蒲郡警察署 委員 東三河建設事務所 委員 蒲郡市長 委員 蒲郡市総務部長 委員 蒲郡市企画部長 委員 蒲郡市市民福祉部長 委員 蒲郡市建設部長 委員 蒲郡市産業環境部長 委員 蒲郡市都市開発部長	村上新 松本幸正(欠席) 岡田英雄 (代理 杉本忠久) 桑原良隆 (代理 神谷輝) 岩瀬雅史 牧原正次 牧野満文 壁谷権一朗 金沢孝一 松本久乃 金原久雄 朝比奈あけみ 小池高弘 (代理 佐藤康彦) 杉山和弘 藤田信彰 (代理 加藤紀幸) 浅野丈夫 天野一美 木本正則(欠席) 古田寛(欠席) 山田透(欠席) 白井淳 肥田尚幸(欠席) 柴田厚 稲葉正吉 壁谷勇司 大原義文 竹内仁人 大場昭佳 吉見和也 鈴木成人

事務局 蒲郡市交通防犯課長 竹内正樹
蒲郡市交通防犯課長補佐 松井英樹
蒲郡市交通防犯課主事 鎌田司郎
蒲郡市交通防犯課主事 井本博子
地域公共交通網形成計画推進事業受託事業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 1名

4 傍聴人 7人

5 議題

- (1) あいさつ
- (2) 委員自己紹介及び役員の指名について

6 協議事項

- (1) 平成28年度蒲郡市地域公共交通会議決算について・・・【資料1】
- (2) 平成29年度蒲郡市地域公共交通会議予算の補正について・・・【資料2】
- (3) 平成30年度生活交通確保維持改善計画について・・・【資料3】

7 報告事項

- (1) 蒲郡市地域公共交通網形成計画事業進捗について・・・【資料4】
- (2) 中間評価について・・・【資料5-1～5-3】
- (3) 平成28年度公共交通の状況について・・・【資料6】
- (4) 形原地区支線バス運行中止の対応について・・・【資料7】

8 その他

- (1) 夏休み小学生50円バスの実施について・・・【資料8】

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 出席委員が25名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び地域公共交通網計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長、稲葉正吉より、本日は協議事項3件、報告事項4件を予定している。公共交通に関わっていただいている皆さんが一同に会して話し合っただけの場所は非常に貴重であり、委員の皆様方には忌憚のないご意見とご協力を賜りたいとのあいさつがあった。

イ 委員紹介及び役員の指名について

- ・ 委員の自己紹介が行われた。
- ・ 蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項により、蒲郡市長が会長に就任した。
- ・ 会長より副会長として壁谷勇司委員、座長に村上新委員、監事に岩瀬雅史委員と大

原義文委員を指名したことの報告。また、議長については蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第6条第3項に基づき座長である村上委員を指名し、議事を進行。

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。
- ・ 中部運輸局愛知運輸支局より「活発で良い議論ができる会議のために。」というリーフレットに基づき、会議の目的や進め方について案内。

(3) 協議事項

ア 平成28年度蒲郡市地域公共交通会議決算について

- ・ 事務局より資料1に基づく説明と監事代表1名から監査報告が行われ、全会一致で承認された。

〔質 疑〕

なし

イ 平成29年度蒲郡市地域公共交通会議予算の補正について

- ・ 事務局より資料2に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

〔質 疑〕

なし

ウ 平成30年度生活交通確保維持改善計画について

- ・ 事務局より資料3に基づく説明と中部運輸局愛知運輸支局より制度の変更の概要とその後の事務手続きについて説明が行われ、要綱の改正に伴う内容の変更を含め、作成、申請事務を事務局に一任するとし、承認された。

〔質 疑〕

なし

(4) 報告事項

ア 蒲郡市地域公共交通網形成計画事業進捗について

- ・ 事務局より資料4に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

(委 員)

- ・ 網形成計画の中で、評価という項目がある。計画をしっかりと評価し、次に進める。PDCA、チェックをしてアクション、プランにつなげることが重要。
- ・ 事業リストや評価の中に、利用促進事業があるが、どのような事業を行っているか、この会議で確認するのか、既に計画で定めているのか。具体的な内容を確認したい。
- ・ 平成28年度の評価結果について、利用促進活動の項目があるので、具体的にどのような事業を行い、どんな効果があったのか、追加の説明をお願いしたい。
- ・ この会議でよかったことを情報共有し、継続することが重要だと思うので、報告をお願いしたい。

(事務局)

- ・ 利用促進活動について、名鉄西尾・蒲郡線については、アクションプランを作成したこと、赤い電車応援団という組織があり、ウォーキングイベントの開催や公民館・幼稚園・学校等にも協力していただき地域での取り組みを行っている。
- ・ 形原地区協議会では、昨年度、回数券の導入を行った。地区協議会からの提案により導入を行っている。
- ・ 回数券の利用は、全体の6割ぐらいになっている。利用促進の効果があったと思う。事業の安定、収入増のため、広告募集事業を行っている。申し込み多数で抽選になり、地元企業の参加から、応援をいただいていると認識している。

(委員)

- ・ 回数券の導入は評判が良い。10月に販売開始した。131枚の売り上げがある。利用された枚数は1,249枚。
- ・ 利用状況について、1便当たりの乗車数は、平成27年度3.4人から、平成28年度は4.2人に増加した。杉本委員から補助金の条件として2人以上とありましたが、十分な利用があり、利用は伸びている。今年度の2か月も5.2人となっている。
- ・ かんた整形外科をつなぐルートに変更したことの影響もある。週3日利用している女性もあり、増加する見通し。
- ・ 免許証返納者も増えたと思う。今後は、男性の免許返納者の利用を増やしたい。案を考えている。
- ・ 小学生以下の利用も増えていない。興味、認知度が低いかもしれないので、バスの写生大会を開くなど、案を考えているところ。認知を進めたいと思う。

イ 中間評価について

- ・ 事務局より資料5-1～5-3に基づいて報告と住民アンケート・利用者アンケートについて委員の皆様にはアンケートにご回答いただいて、気になる点等あれば6月中に事務局まで連絡してもらい、事務局にて調整し、実施する旨の説明が行われた。

[質疑]

なし

ウ 平成28年度公共交通の状況について

- ・ 事務局より資料6に基づいて報告が行われた。

[質疑]

なし

エ 形原地区支線バス運行中止の対応について

- ・ 事務局より資料7に基づいて報告と事業者より説明が行われた。

[委員]

- ・ 地域協議会としても心苦しく思っている。翌日の新聞で発表され、運行自体が中止すると誤解が生じたこともあったが、2日間だけ事情により中止しただけで、通常通り運行していると紹介している。

- ・ 現在あじさい祭り期間中であり、昨年ある便で 40 分遅れて運行したことがあった。社長と話をし、臨時便を出そうと相談し、対応してもらっている。今年のアジサイ祭りについては、自主的に協力いただき、定期運行対応いただいていることを報告したい。

(5) その他

ア 夏休み小学生 50 円バスの実施について

- ・ 事務局より資料 8 に基づいて案内が行われた。

イ エコモビ推進表彰候補団体募集について

- ・ 愛知県交通対策課よりエコモビ推進表彰候補団体募集について案内が行われた。

ウ その他

(事務局)

- ・ 次回の地域公共交通会議は 12 月ごろ予定との連絡を行い会議は終了した。